

都市再生整備計画 事後評価シート  
新津駅周辺地区

平成23年3月

新潟県新潟市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	新潟市		地区名	新津駅周辺地区			面積	800ha			
交付期間	H18～22年度		事後評価実施時期	H22年度		交付対象事業費	1,893百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	道路：市道本町10号線、市道本町11号線、市道本町12号線、市道新津2号線 地域生活基盤施設：イベント広場、広場(能代川サイクリングロード拠点・サイクルストップ)、駐輪場 高次都市施設：地域交流センター										
			提案事業	地域創造支援事業：行政出張所、社会福祉協議会、コミュニティ協議会、老人クラブ連合会、既存施設取り壊し(地域交流センター用地内)、既存施設取り壊し(イベント広場用地内) 事業活用調査：市民と協働したデザイン作成 まちづくり活動推進事業：レンタサイクル社会実験、駅前交流市社会実験										
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			基幹事業	高質空間形成：市道本町10号線		市民と協働したデザイン検討結果によるデザインの変更のため			歩行者通行量の指標に関係するが、他事業の影響により、数値目標を上方修正					
	新たに追加した事業		提案事業		なし			-			-			
基幹事業			道路：市道新津4-25号線(新津跨線橋階段)、市道田家新栄町線(JR信越本線吉岡踏切歩道) 高質空間形成施設：市道西大通り線		地元意見を反映させたため、事業を追加 地元意見を反映させたため、事業を追加			歩行者通行量の指標を上方修正。 影響なし						
交付期間の変更		当初		平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更		-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み					
	指標1	歩行者通行量	人/12h	5,370	H17	5,640	H22		5,568	△	あり	● 地域交流センター、市道西大通り線の整備及び駅前交流市社会実験等により、歩行環境及び駅周辺の魅力が向上し、当該箇所の歩行者通行量が増加した。	H23.6	
										なし				
指標2	地域交流センター利用者	人/年	54,000	H16	60,900	H22		90,000	○	あり	● 地域交流センターへの公益的施設の集積、市民と協働したデザイン作成等により、利用者が以前の町二番館に比して増加した。	H23.5		
										なし				
指標3	レンタサイクル利用者	台/年	1,700	H16	3,400	H22		788	×	あり	● サイクリングロード拠点施設整備等による自転車利用の普及を図り、日貸し利用者数は増加したが、月貸しレンタルの認知及び利用が進まなかった。	H23.6		
										なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		まちづくりイベントの参加者数	人/年	51,500	H16	/		/		/		● 地域交流センター整備によりまちなかの集客力が向上したこと及び駅前交流市社会実験における実施イベントが好評だったことから増加した。	H23.5
	その他の数値指標2		レンタサイクルの日貸し利用者	台/年	54	H16								
4)定性的な効果発現状況	従前においては、周辺の市民活動等施設(新津福祉センター、市民会館、勤労青少年センター、視聴覚センター、新津地域学園)の利用希望に対し、利用をお断りしている状況であったが、地域交流センターの整備により広く利用者の受け皿となっている。 本計画における駅前交流市社会実験以降、地元住民にまちづくりイベントが継続して開催されている。今後、イベント広場、地域交流センターを利用したまちづくりイベントによるさらなる市民交流の促進が期待される。													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					-			
	住民参加プロセス	「新津地域交流センター説明会」にて市民の意見を聞いた。「本町二番館及び周辺道路整備意見交換会」にてイベント広場及びイベント広場周辺道路整備について、市民の意見を聞いた。				● 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					地域交流センター、イベント広場が市民活動の場となるよう、今後も市民との対話を継続する。			
持続的なまちづくり体制の構築	利用促進に向けた広報等を行う「新津地域交流センター管理委員会」、イベント開催等の調整を行う「新津駅前交流協議会」を設置した。				● 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					行政はオブザーバーとして参加し、連携していく。				

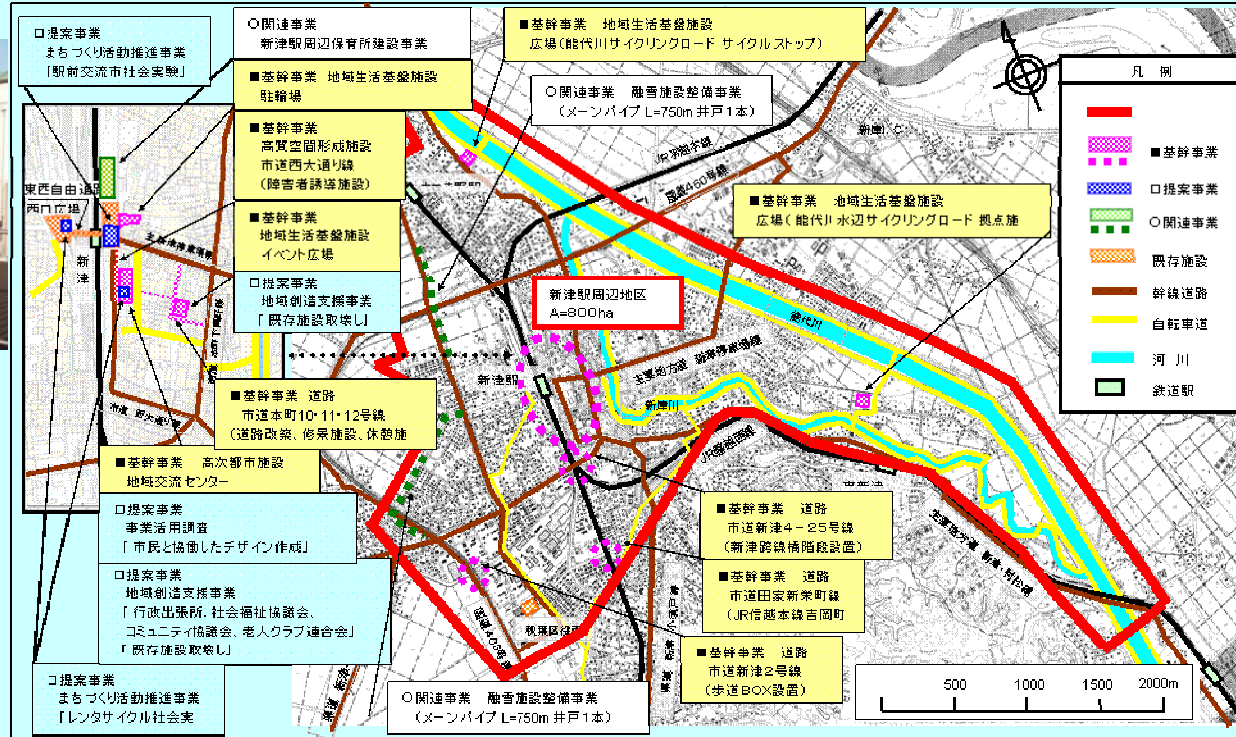
## 様式2-2 地区の概要

### 新津駅周辺地区(新潟県新津市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
【拠点形成による自立したまちづくり】 小目標① 地域コミュニティの育成と市民活動・交流の促進による地域の活性化 小目標② 地域性を活かした生活を楽しめるまちづくり 小目標③ 新津駅地域の玄関口としての観光施設や周辺施設及び周辺地域との連携	歩行者通行量	単位: 人/12h	5,370 H17	5,640 H22	5,568 H22
	地域交流センター利用者	単位: 人/年	54,000 H16	60,900 H22	90,000 H22
	レンタサイクル利用者	単位: 台/年	1,700 H16	3,400 H22	788 H22
	まちづくりイベントの参加者数	単位: 人/年	51,500 H16		70,000 H22
	レンタサイクルの日貸利用者	単位: 台/年	54 H16		443 H22



駐輪場



市道西大通り線でのイベント



能代川水辺サイクリングロード拠点施設



地域交流センター

まちの課題の変化	市民活動・交流の促進や、レンタサイクルを活用した観光施設や周辺施設及び周辺地域との連携について効果が得られ、また、公園・緑地等公共空地も確保された。レンタサイクル利用者が想定より増加しなかったため、より一層の利用促進が望まれる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	改善が図られた市民活動・交流については、商店街等によるイベント開催を誘導することによる、更なる交流の促進を図る。レンタサイクルは、利用についての周知を徹底し、利用者の増加を目指す。自転車利用環境総合整備事業と関連した自転車利用の促進を図る。